

ルーツからたどる

関西二次製品企業の「歴史」と進化

長年継続する企業には、伝統と変革の風土の両方が備わるといわれる。とくに中小企業は景気や時代の試練を乗り越え、現在に至っている。100年を超える歴史を持つ関西地区の鉄鋼二次製品流通・加工業界の中から、3社を取り上げ、そのルーツを進化、現況についてまとめた。

(戸次 達也)

近江屋ロープ



野々内社長

独自の獣害防止製品で実績

ワイヤロープ・繊維ロープ、省力機械・器具、安全・保安用品、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

現在ではワイヤロープ製品の販売を含め、安全手工具、省力機械、ワイヤロープ、繊維ロープ、ワイヤロープ、繊維ロープ、省力機械、器具、安全・保安用品、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

姫路城に足跡

建築部材ワンストップで

ハウゼンエー



神戸社長

住宅用換気扇・屋根役物・壁役物、ハナナシの有方メーカー、ハウゼンエー(本社大阪府中央区、神戸社長)の創業は、江戸時代(17世紀)にさかのぼる。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

建築部材メーカーとして設立され、現在では新ブランド「houseco」(ハウゼンエー)を掲げ、換気扇・水切(みずきり)のトップメーカーの地位を固めつつある。同社のルーツは江戸時代(17世紀)にさかのぼる。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

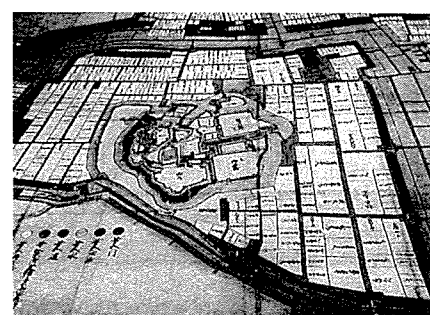
同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。



記録の残る江戸時代の姫路城下地図

に事業を伸ばしていく姿勢を窺い見ている。ブランドカラーはスカイブルー、ネイビーブルー、エアロホワイトの3色。同社は水切をはじめ、新製品の開発と事業領域の拡充にも注力しており、13年には業界初となる「モルタル外壁専用水切」を、メタルラスメーカーの山中製作所(本社神戸市東灘区、山中豊義社長)と共同開発した。また、換気扇・水切の周辺副資材の取り扱いを開始し、10月に発行した最新カタログに掲載している。

洋釘商



明治初期の洋釘商の暖簾(暖簾屋)の意。梅本社長は「その時代、その時代によって、会社の屋台骨を支えてくれる大番頭の方々の存在があった。人に想われ、人が人を育てる良いサイクルが(企業存続の)1つの大きな要素になった。長い歴史の中で同じ

日本復活

新たな成長軌道を

同社は文化年間(初代)の近江屋藤助が江戸・野田字野々内(現在)に創業した。創業当初は、農林用機械、緑化資材、獣害防止製品を販売する近江屋ロープ(本社京都府下京区、野々内雄時社長)の創業は江戸時代後期の文化年間(1804年)にさかのぼる。戦後はロープ、ワイヤロープを軸に取り扱った商品を広げ、近年は独自の獣害防止ネットシステムの受注も好調となっている。

スズキテクノス 迅速でキメ細かい エキスパン...

SHBAURA GROUP 芝浦シャリング株式会社 芝浦鋼材株式会社

鋼管・継手・バルブ・ビニール管 斎長物産株式会社

三陽商会 鋼管・継手・バルブ・ビニール管